

～岐阜大学で『看護体験』と『研究室訪問』を行いました～ (看護系志望者対象)

この講座は、看護系を志望する生徒が、大学での実習に参加して、大学の先生や看護学科の学生から直接学ぶ場です。

平成28年度の高大連携事業から始まり、6年目を迎えた今年度は、普通科2年生が取り組んでいる「SDGsに関する探究活動」の一環として実施しました。



SDGs 17の目標より

【看護体験】11月5日(金)、12月10日(金)

看護系志望の2年生(13名)が岐阜大学の医学部看護学科の看護実習(1年次の授業「基礎看護学実習」)に参加しました。

11月5日の実習風景



まず説明を聞きます。(患者役は大学生)



「寝衣交換実習」



先輩学生の皆さんから、これまでの実習を通して学んできたことを聞きました。



12月10日の実習



事前に説明を聞きます



「洗髪実習」



取材を受ける様子

実習の様子は、地元ケーブルテレビCCN、
中日新聞などで紹介されました

【研究室訪問】12月6日（月）

「マスクの人体への影響」や「ジェンダー問題」、「視覚障害の方にとって住みやすい環境」などについて探究しているグループが、これまでの活動で抱いた疑問や課題などを質問しました。



看護学科の先生方が、さまざまな質問に丁寧に答えてくださいました

看護職を志す生徒にとって、貴重な実体験を得られました。特に、大学生の姿から学ぶことは多く、進路に関する疑問や思いを聞いてもらう機会になりました。

ご担当頂いた医学部看護学科の先生方、学生の皆さん、本当にありがとうございました。